

令和5年6月9日

記録：関根 浩

令和5年度 第1回 教育課程編成委員会 議事録

1. 日時 令和5年6月1日(木) 13時30分
2. 場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室
3. 出席者 島村和男（埼玉県柔道整復師会西部支部支部長、島村接骨院院長）
金島裕樹（かきの樹はりきゅう整骨院院長）
平澤淳校長 霞孝行柔道整復学科学科長
岡村忠彦教務部長（柔道整復学科） 関根浩学務部長

4. 議題

- ① 校長挨拶
- ② 委員委嘱状交付・自己紹介
- ③ 教育課程編成に係る現状と課題等
- ④ 年間行事予定について
- ⑤ 事務連絡他
- ⑥ その他

5. 校長挨拶

本日は、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。早いもので2ヶ月を過ぎ、1年生も慣れてきたようです。学則に沿ってカリキュラムが行われていますが、卒業後、戦力になれるような人材を育成する為、色々なご意見を頂戴したいと思います。今後とも、ご指導よろしくお願い致します。

6. 委員委嘱状交付・自己紹介

平澤校長より委嘱状が交付され、各自、自己紹介をしました。

7. 教育課程編成に係る現状と課題等

(1) 令和4年度の報告

卒業までつなげるはずが、1年間もたないで退学する学生がいるのが現状である。

①学外臨床実習について

本日ご来校されている金島先生の「かきの樹はりきゅう整骨院」様でも2名の学生がお世話になった学外の臨床実習ですが、新しい臨床実習先として「佐瀬病院」様を実習施設として契約しました。各方面全員で15名の学生達が、1週間の学外臨床実習へ行かせていただきましたが、おかげさまで無事に終了致しました。そこでの実習指導者様の評価・ご意見等を、今後の学習に活かしていきたいと考えています。

②国家試験

令和4年度の国家試験受験者は、現役生9名、既卒者3名、合計12名でした。その内、合格者は、現役生8名、既卒者0名、合計8名と66.7%の合格率という結果となりました。全国平均は、49.6%と過去最低の合格率でした。この現状はどうかなあ

という感じですが、決して国家試験の難易度が高くなっていることが理由ではなく、問題漏洩を受けて、出題傾向が変わったため対応が出来なかったのではないかと
言っている教員もいました。また、昨年まで毎年合格していた既卒生ですが、1名が
塾に通い、2名は学内で勉強をしていたにもかかわらず、今年度は、残念ながら合格
した者がいなかった結果となってしまいました。

(2) 令和5年度の取り組み

①学科運営

令和5年度の在籍者数は、定員30名のところ、1年生が25名、2年生が25名、3年
生が17名で充足率74%程度となっています。令和5年3月に卒業した卒業生達の
入学時は25名、途中で6名が退学し、9名が卒業しました。一昨年度より、進級を
厳しくしていることもあり、現在、1年生1名、2年生4名、3年生2名の留年者が
います。今年度も、学習への取り組みについて厳しい指導が必要とされる。1年次・
2年次と保護者を含めた現状報告や、進退・生活態度の改善の指導等を行います。

②学生募集

今年度より、専門学校の募集については、入試募集委員会を中心とした専門学校の
内部で授業もやりながらの広報活動を行うこととなりました。広報活動範囲を見直し
ながら、高校でのガイダンスやオープンキャンパス、気軽に見ることができるSNS
等での情報発信に昨年と変わらず力を注いでいきます。

③専科教員の教授範囲

専科教員の教授できる範囲の規定が変わり、解剖学の一部・運動学・リハビリテーシ
ョン医学の運動器に関わる範囲について教授可能となった為、順次変更している段階
です。。

④講習会の実施

新型コロナ感染拡大防止の影響により中止していた学生向け講習会の再開を準備
しています。

イ. テーピング講習会(3M)

ロ. 超音波講習会(日本超音波骨軟組織学会)

ハ. 柔道整復師の働き方(企業担当者)

ニ. 解剖見学実習(日本大学)

「ハ」については、企業担当者の方から直接、給料や福利厚生等を学生達へ伝えて
いただき、個々の卒業や就職へのモチベーションが上がることを期待している。

8. 年間行事予定について

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、5月から5類に移行したことにより、
学校行事も元に戻り、大きな行事としては、10月学園祭を開催致します。また、4月
に行われた入学式では多くの保護者の方々がご出席され、学校への関心・期待を
持たれていることが伺われます。

9. 意見・質問等

- ・学生達のマスク着用は、5類になっても強制しているのか？

⇒ いいえ。本人の自由な意志で、特に学校側からは、する・しないの発信していません。学生の中で完全に普段着用していないのは1・2名、「柔道」の授業時では、半分が着用して柔道を行っています。一応、実技授業前は、検温をし、マスク着用は推奨している程度で、座学では特に指示をしていません。

ある会合で国会議員が、「私はマスクをしません。これからは取りましょう。」というような発言をされていた。ただ、周りの方々はマスクをしていた。

・学外での臨床実習は、学生達の為にも、これからも続けてもらいたい。なぜなら学生がピリッとするから。

・新入生の25名は高校を卒業した現役生達ですか？

⇒ 地方の学生が2名で、ほとんどが高卒です。

ある歯科衛生士の学校は、大学を卒業してから入学する学生もいるようだ。

・「救急救命講習」を学生のうちに学習させた方が良い。確かではないが、10名程度集まれば消防署の方が来校し無料で実施できると思われる。

・中退する学生を減らすには、接骨院現場での意見として、学生に対する学習に、初年度教育の動きを入学段階でやらせてみるというのではないかと思われる。今の学生達は、言われたことはやるが、考える力が弱い。1コマでいいので考えさせるような授業を取り組むと良いと思われる。例えばの話だが、ある大学だと、コミュニケーションの授業を1コマ設け、理解が来ているかどうかを確認させている。また、今までアウトプットする機会が少なかったため、グループワークで行うことが楽しかったようである。

⇒ 学生達の能力まで下げて授業をしていこうという専科教員もいるが、なかなかうまくいかないのが現状である。

10. 事務連絡等

次回開催予定 令和6年2月28日(水) 13時30分 2階会議室

後日、郵送にてご案内を申し上げます。

令和6年3月8日

記録：関根 浩

令和5年度 第2回 教育課程編成委員会 議事録

1. 日時 令和6年3月4日(月) 13時30分
2. 場所 大川学園医療福祉専門学校 2階会議室
3. 出席者 島村和男（埼玉県柔道整復師会西部支部支部長、島村接骨院院長）
金島裕樹（かきの樹はりきゅう整骨院院長）
平澤淳校長 霞孝行柔道整復学科学科長
岡村忠彦教務部長（柔道整復学科） 関根浩学務部長

4. 議題

- ① 校長挨拶
- ② 教育課程編成に係る現状と課題等
- ③ 学生アンケートについて
- ④ 質疑応答等
- ⑤ 事務連絡他
- ⑥ その他

5. 校長挨拶

本日は、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。学生達も定期試験を終え、3年生は昨日、国家試験が終了致しました。明後日が卒業式となっておりますが、卒業生は8名となっております。今年度も、進級できない学生や進路変更になった学生で退学した学生もいました。本日は、先生方のアドバイスをいただきながら、カリキュラム編成などを検討したいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。また、次年度もよろしくお願い致します。

6. 教育課程編成に係る現状と課題等

【1】令和5年度の報告

(1) 学科運営

① 教育内容（新型コロナウイルス感染に対して）

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行し、行政の指導に基づき実技や実習を行っているが、当校では、コロナ禍以前と同様に実施できている。

② 進級および卒業について

令和5年3月の国家試験合格率は49.6%、当校の合格率は新卒が88.9%、既卒生は3人受験しましたが全員不合格となり、卒業・国家試験受験に対して十分に検討する必要があると考えます。進級に際しても、毎年同様に、保護者を含めた3者面談を実施し、十分に考慮して決定することが必要であります。最近、原級留置になった1・2年生も、続けてやりたいという学生が多くなってきました。

③学外臨床実習

新たに元かじ整形外科内科も実習施設でき、これにより実習施設は 13 施設となりました。

(2) 職業実践専門課程

現在、申請中であります。

(2) 令和 6 年度の取り組み

①学生募集

令和 5 年度の学生募集については、入試募集委員会を中心に行い、令和 6 年度の新入生は、18・19 名の予定です。募集業務については、授業や学生対応の合間でガイダンスや高校訪問を行っているので、今後の募集活動の対策が必要とされます。

②学外企業との連携

(ア) 企業による研修会等の実施

他校でも行っているところもあるようですが、「働き方」・「待遇」・「スキルアップ」など具体的なイメージが持てるよう、企業と連携した研修を行う予定です。

(イ) 授業内容の多様化

学生が業務の多様化に対応できる施術者になっていただきたいとのことで、施術や接骨院の運営、働き方など外部の講師を迎え、授業として取り入れる予定です。また、外傷なども学校で取り入れたいと考えています。

③教員の配置

令和 6 年度より全学年募集定員 30 名となり、専任教員の配置要件が 6 名とさせていただきます。

④授業外の補講

進級・卒業が困難な学生が増加し、入学した人数の半分が卒業できません。現行の補講では救済が難しくなっています。今後、学科・学校と協議し、対策を検討した上で、令和 7 年度には手厚くした補講をスタートしていきたいと考えています。

7. 学生アンケート結果等

学生アンケート結果については、中には厳しい意見もありましたが、温かいお言葉として考え、また、「なぜ入学を本校に決めたのか？」という質問の回答を参考に募集へと繋げていきたいと考えています。そして、最後の方にある質問での、「当校に入学して良かったか？」や「親族に当校を勧めるか？」の回答率を 100%に近づけるような環境づくりに心掛けていきたいと考えています。

8. 質疑・応答等

・ 4 月は何名でスタートしたのか？

⇒ 3 年生が 16 名いて卒業は 8 名、2 年生は 21 名いて 17 名が進級となりました。原級留置になった 3 年生の内、現時点で 5 名が留年することになっています。

これで入学希望者は心配しないのか？

⇒ その時点では、このような状況になるとは、自分のことだとは思っていない

ようです。

- いまの学生達はどんな感じなのか？

⇒ 卒業して開業したいと思っけていません。ポヤッと考えてポヤッと学生生活を送っているような感じがします。また、いざとなると、勉強が足りなかった、勉強を始めるのが遅かったなど、ポヤとした考え方をしていました。きつく言うと今の時代は…。

- 最近は、半分程、美容院のような接骨院もあるが…、すでに当校の授業でも取り入れているが、全体の10%程度の接骨院で活用されているエコー等を活用していく授業、手技などの形になるようなものを教えていく授業を行っている。

- 福利厚生を強く言っている接骨院があるが…？

⇒ そういう学生達が増えている。ただ、中には強く志ある学生もいるので、そのような学生に頑張ってもらいたいです。

- 学外授業での企業連携が大事である。例えば、スポーツ現場・トレーナー・被災地で活躍している卒業生を招いて授業をすることも必要だと思う。

- 授業内容の多様化という点で、卒業生に聞くと、現場に出て、整備・固定法・ウエイト・後療法をもっと学びたかったということをよく聞く。

⇒ 当校では、手技療法・物理療法などに力を入れて、社会に強い柔道整備師を育てていきたいと考えています。

- 学生アンケートで(14)番「入学して良かったと思っけていますか」と(15)「自分の親族に本校への入学を勧めますか」の質問で「はい」と回答した学生に、何で「はい」を選んだのかを今後の質問事項に加え、色々データを結び付けていくこいいと思う。この件については、マイナスを追っていくよりもいいと思う。また、教員にもアンケートを行うことで、より一層の集計結果が強く結びつくと思われる。

⇒ 入学前の動機が、親に勧められて入学してきた学生もいて、昔に比べて意識が弱いと思われる。資格を取らせる学校を目指し、やる気を持たせるモチベーションが大事だと考えます。

9. 事務連絡等

次回開催予定 令和6年6月6日(木) 13時30分 2階会議室

金島委員の都合が悪い為、後日、日程変更を調整する。

(木曜日か土曜日が都合いいとのこと。)

後日、郵送にてご案内を差し上げます。